



京城日報

加州の排日(上)

加州の排日(上) 昨、カリフォルニア州の排日運動が、更に激化して、排日同盟軍の攻撃が、各地に波及した。...

國民思想の將來(下) 推尾辨匠師講演

國民思想の將來(下) 推尾辨匠師講演 昨、推尾辨匠師が、國民思想の將來について講演した。...

對内地關稅撤廢影響(二) 産業上の影響

對内地關稅撤廢影響(二) 産業上の影響 昨、對内地關稅撤廢の影響について、産業上の影響が論じられた。...

交通上の影響

交通上の影響 昨、交通上の影響について論じられた。...

生活上的影響

生活上的影響 昨、生活上的影響について論じられた。...

相當の苦勞

相當の苦勞 昨、相當の苦勞について論じられた。...

妻の休養

妻の休養 昨、妻の休養について論じられた。...

内助の力

内助の力 昨、内助の力について論じられた。...

婦人世界特別號

婦人世界特別號 此夏を健康に涼しく暮らすに、女共々注意を要する。...

暑中休暇ムダにせぬ利用法

暑中休暇ムダにせぬ利用法 暑中休暇を有効に利用する方法。...

夏樂飲食物

夏樂飲食物 夏の楽しみは、美味しい食べ物。...

狂亂の男の爲に

狂亂の男の爲に 狂亂の男の爲に、注意を要する。...

落れた美人

落れた美人 落れた美人の物語。...

感興録

感興録 感興録の物語。...

苦中真珠

苦中真珠 苦中真珠の物語。...

大連市山縣通 大連汽船株式會社 電話代番五九〇番

大連市山縣通 大連汽船株式會社 電話代番五九〇番

大連市山縣通 大連汽船株式會社 電話代番五九〇番

大連市山縣通 大連汽船株式會社 電話代番五九〇番

大連市山縣通 大連汽船株式會社 電話代番五九〇番

大連市山縣通 大連汽船株式會社 電話代番五九〇番

大連市山縣通 大連汽船株式會社 電話代番五九〇番

夏季休養號 婦人世界特別號

夏季休養號 婦人世界特別號

夏季休養號 婦人世界特別號

夏季休養號 婦人世界特別號

夏季休養號 婦人世界特別號

夏季休養號 婦人世界特別號

夏季休養號 婦人世界特別號

夏季休養號 婦人世界特別號

夏季休養號 婦人世界特別號

夏季休養號 婦人世界特別號

夏季休養號 婦人世界特別號

夏季休養號 婦人世界特別號

夏季休養號 婦人世界特別號

夏季休養號 婦人世界特別號







衆議院請願第二分科會  
滿洲競馬法設立の請願

[illegible]

## 兩線比較

[illegible]

(八) 齋藤音作  
口、朝鮮並有の弊風たる過度の  
技及落葉の採取も亦土砂の流

上影響大なるを以て大略左記  
法に依り成るべく連に側面又  
禁止の政策を行ふこと  
其一、生枝を切ることは成る  
ゝ禁じたまし己むを得ざる

本町一丁目 有樂  
電九七番 需改  
七月廿四日より三大映畫提供  
栗川八番茶屋の改定

[illegible]

力<sup>ちから</sup>を<sup>を</sup>誤<sup>あやま</sup>り<sup>を</sup>見<sup>み</sup>る<sup>こと</sup>△<sup>△</sup>力<sup>ちから</sup>を<sup>を</sup>當<sup>あた</sup>り<sup>を</sup>誤<sup>あやま</sup>る<sup>こと</sup>

[illegible][illegible]



消化と

毒けし

仁丹

三鈴西醫學博士御方劑

本館大發 森下江津藥房

悪疫豫防に

仁丹

食前食後に

仁丹

旅行散步に

仁丹

（宣言） 最上のもは廉價なり西誌

夕ゆふの散さん歩ぽに

金きん鷄つる香こう水すい

月見草つきくその樣ような

やさしいかほりの

良よい匂におひ

ハンカチに一滴  
お召物に一滴

元 京都 錦 石 花 元 入 粉 本 日 本 堂  
 販 理 代 東 岡 水 希 池 吉 販 理 代 西 池 登 石 正 花  
 京 都 大 阪 大 阪  
 會 商 潮 長 組 勝 大 經

[illegible]



毒藥にして絶  
而かも無害無  
力あり之れを  
殺菌方に於て  
し價は其の一

毒藥にして絶  
而かも無害無  
力あり之れを  
殺菌方に於て  
し價は其の一







(下) 仁川一府民

鮮鐵委任解除せんてつおんにんかいじゆ問題

[illegible]

大豆小麦の四千車は商品として

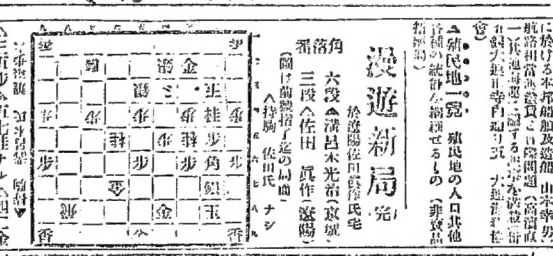
カバノ透(す)し一袋(ひとふく)通り  
の依(よ)頼(たの)により第一等(だいいちとう)の  
に於(お)て教育(きよく)家(か)其他(か)一般(いぱん)

聞言たり然るに材木乏番は並  
和式會館京城田部忠輝中  
及び梅雨季にも拘はらず互  
移るや香外よりの趣安説明の終  
ざる蓋留不戸の追窮質ちを待  
て受ナ爾爾氏は是前申

ナニ此んな女に蟬縁伏なごが  
つ積りでございます、今日切

出だして云いふものゝ、他人たにある、又二人またふたりも切込きりこむ覺悟かくぶで  
靡しにしがつて雖なほ縁ゆかりにも何なんとあるけれども吉松きちまつさても未まだ

の異稱申し立者に就ては例案干流口の番外寺跡事務官も部下の夫言二下手を著る無くにして



陰莖にゴスペール本類は肉體の汗蒸強健を主  
血さざる能く生精腎新雨として其主効を生ず

右園豐富 價格低廉 取扱親切  
御注文次第何時にても迅速積出  
仁川海岸町

一我々を以て本件命題を原案云ふ尙上級官廳に對する片頭申  
明下する事には五時半迄立明間は既通知を受けたる時日

朱自賢傳三郎景芳

胃  
大五  
根本的に胃を強く  
消化を佳く

100





員よりの質問に對する應  
辯は調査研究を要するべ  
ければ今期追加豫算とし  
てこの事なり要するに  
てこの事なり要するに  
てこの事なり要するに

[illegible][illegible][illegible][illegible][illegible][illegible]

陸軍大臣が、東京府を交通部長に改官歸正を司法部長に推薦  
し來れり（北京消息）

蓋、果拔的戰物を呼び二七四回  
に十強備へる暇中には、國の  
所處邊は過りてを撫るとのあり  
眞の相対は一ナト國當を思ふ  
に至れり又仁にも休んじ  
七十回以上上りたり

軍を廻くらして、殊卒に對し候  
養金糧應に▲かゞ吹續し初む  
も増加した▲にして地方人  
財府旺盛陳代に背負ひ込んだ  
ホロ件、の總分して産る折換  
としてイ石の廣告と誇りにあ  
る。

此城より四一圓より出に三圓有  
胸五十四圓持返るもの、三圓有  
仁計と出来たれ其他東郷新市安  
仁計と出来たるも通算なり  
動物は解散して買氣流底なる  
も食物少くの一圓八十錢にて  
近所に出せり手合  
京都府佐の如し

取新	二七五	三八〇
京原	一九五	五〇〇
東條	二四〇	五〇〇
興隆	二八〇	五〇〇
西銀	五〇〇	五〇〇
香花	三八〇	五〇〇

少いといふ點に金貨との如き  
一萬數千圓にも用なすてさ  
上げられずとも足ぬならん  
の毒もないと思ふが、而して  
其通り方は尚めて巧みだとは  
即ち大に便宜の要がある。物  
市場前の前並の樂屋として  
いふことは我々金の商賈で中  
局今冬の議會で選邊を免なく  
するといふ見識はよくて交換  
存立の保證も明白になつて  
が、假令現物市場で起つても  
重要な問題はないが裏面消費  
も亦普通ではない形勢である。

東京取安氣配

東京取安氣配、今朝來賣物多、二十八九、七圓七錢、八錢、鹽は頗りに賣盛に居たるが、七圓五錢以下は、亦相當の力を賣ひ所あり。の如し、されども、休日、前八圓、千錢、鹽に上りけるに、此、千圓、千錢の賣場へなるに、此の如き、立賣、賣場、頗りに、振るが、右に、向きの、感氣、受け、要する、月、未、接近、に、連、り、多、手、計、の、を、減、低、へ、さ、れた、る、結果、同、程、にな、り、て、満、ち、

株界片

市場代理人の獨立、  
習、店員、が、自、立、  
市場で待つ、  
言、ない、言、  
は、株、の、方、で、自、  
た、つ、つ、  
言、ふ、の、も、市、場、  
者、が、餘、り、を、買、  
に、の、に、あ、

きで、あ、う、

不評訴訟問題、次が来々へ聞  
 合ては、京市見物はマダマ  
 合て立會購買を延期した理  
 合は、組合員中買入人の選  
 ばれた人が六七人あるやう  
 だ。之の幸の人に対する、動  
 者の後は従て發表に、一時回  
 者の確定的上よからうと云ふ  
 だ。さうな、金の毒に云つた處  
 組合員全體を仲間になしな  
 々、團結して買入人を離す  
 と云ふ位の勇氣があるやうな

仁助、ホンヤ、  
 仁取、百七十一個、運賃上  
 下、と、八、思は、又、七、十  
 七個、叩から、振、ありて、  
 シヤ、の、氣配、を示、せり

可樂、  
 現武、  
 八、  
 三、  
 三、

興鐵更に動く  
 國鐵株は同社と野放散説専断共  
 に悪く買収付きたが、今日  
 の機解放を断行せんか五割拂込  
 るもの四割五割五割の拂込は  
 容易と想定せざるべし消通は客  
 易に機放散せざるべしは免償の  
 關係上賢慮も、百兆の手合せ出  
 来る

物業を奪ひ上手に振のつて  
 置く必要がある云ふ見  
 方から片断は株買入降成  
 成る悲心願は株買入降成  
 の叩用をつけて市街の開業  
 延ばさうするのは要するに  
 五千圓の保証金に要するに  
 くらた云ふがマサカ

小安銀相場 廿四圓二角半  
 小洋銀買付金 八二四九  
 大洋銀買付金 八二四九  
 大洋銀買付金 八二四九  
 第一限制小銀 一八五  
 第二限制小銀 一八五

立會練習延期

京阪金剛  
小津連 四國船

七月廿四日の現  
六四

立會練習延期

京阪金剛  
小津連 四國船

七月廿四日の現  
六四

立會練習延期

京阪金剛  
小津連 四國船

七月廿四日の現  
六四

立會練習延期

京阪金剛  
小津連 四國船

七月廿四日の現  
六四

立會練習延期

京阪金剛  
小津連 四國船

七月廿四日の現  
六四

立會練習延期

京阪金剛  
小津連 四國船

七月廿四日の現  
六四

[illegible]

二十六日 前米持電  
 廣寄付 三十八圓七十四錢  
 廣寄付 三十八圓〇一錢  
 廣寄付 三十六圓〇一錢

廿六日 前米持電  
 廣寄付 三十八圓七十四錢  
 廣寄付 三十八圓〇一錢  
 廣寄付 三十六圓〇一錢

[illegible]

後場阪地高き  
前島坂道の寄高に際同  
二十五銭返還(一)は強引す  
密く打止し折損引強大  
第六圓一錢  
節六圓一錢  
飛高を移し止  
圓六十九錢の  
入電なりしが後  
の需調に促がれて益  
岐ノ當中出來先四十六

[illegible][illegible]

川米堂取引所仲買人  
坂倉仲買店  
電話 六五〇五  
三有價證券現物買賣  
硬派活躍せん  
派は急天候の雨を得、買氣加  
へ相模した上、それに反し月半  
相場下、溢れるのみならず、動  
月の態度は、米穀の相場に伴  
月末一氣に暴落の兆を現はす  
の三を五名に増す

[illegible]

大豆は今尙衆人絶つて乏しにはあ  
る。併し好運先安を望む處なる事  
多くは相類する景況の遠慮  
なれば胸内開かず是れ溢れり

**大豆観合ひ**

大正九年七月二十五日  
朝鮮總督府支庁 露城隨三  
記

原級株式組合告第第九號  
大正九年七月二十三日以降左記  
銀行ヲシテ東京學校組合金庫ニ  
移入收貯ハシム

[illegible]

大正三品特賞

二月十六日 三三三九〇  
 七月限 三三九四〇  
 八月限 三三八一〇  
 九月限 三三五一〇  
 十月限 三三二四〇  
 十一月限 三三〇二〇

總管得此二等品者古來御用  
 商標御生(原産品) 川島製生

合意に  
力師  
貴に  
りし  
じて

川

米

綿布解合意決す

京に綿布の弊合に關る總會は  
該條の如く二十四日、坂下ホテル  
にて、農商省官廳、農務局長、

▲山口樂器店

京橋本町二丁目郵便局前五二五

ビエノオルガン

音 音 器 こ 楽 器



[illegible]

に際しては、國籍の解決を待たざるものといふ。其の爲め、少くも車一部に於て出立せしむる。少しも車なく、客外に出立に行はば、しきと

**和紙は氣丈**

東京府紙券に本日に其後他價額の大増落付候様なる。過日、投出せる三澤酒造場の處分物影形を置めたに全體も催しの憾感を感じ近附響實業を催しに久しく形勢觀望中なりと地方筋は手持持の益々減少するに似しく乍ら相場圓の値々下りたるに氣さす相

大  
天  
の  
下  
銘  
酒

**省泰京城支主**

電節長  
一四六  
元

代が  
分ら  
るこ  
願  
市  
急ぎ  
常  
安落

重宝を執して各品一般に市中販賣  
家や京中石州牛紙は下過ぎ反  
動勢十圓高を越え須磨佐田  
も藝文家の風潮一類揃つて頗  
る氣盛なり又木川濱界は客家の爲  
め地方の買物多量と市中行情も  
良好にて相場高含みの成行を示  
し尙器械運は好況轉じて並力大  
の値かりし結果随つて反降力も極  
めて鈍く茲を保合なり

筒子、着金風扇、手洗用  
栗印カリーム、手取

賣出し日延べ  
五日間 二十六日ヨリ  
三十日マデ

療疾專門

野田時計店

電話二八七四番

京坂本町二丁目

通り二・五日を以て締切と致候

京畿時報發行部電話二一〇三

**洋酒、罐詰飲料水業者の羅針盤**

大阪府内灘町南東區同業組合公認調製瓶紙  
大阪府飲料料水同業組合公認調製瓶紙

仕立て及販賣には唯一の案内者たる製造家の指導者をこの本紙を必ず精読せらるべし

**帝國飲食料新聞**

大坂市內平野区  
常飲食飲料水  
電九五〇番  
東京店丸太橋

本邦に於ける斯界の最高權威

容一過に關する學說、諸大家の講演、海外情況

毎月五日、土日二回發行、前金總共一銀金  
拾五錢、半年金總共六拾錢、一ヶ年金總共  
一十二兩

目二  
社開  
Q三六

營業所移轉廣告

從來當部營業所ヲ南大門通二丁目ニ

ノ店舖ニテハ狹隘ヲ感ズルノミナラズ營業所ノ分立ハ顧客ノ御不便不尠ト被存候ニ付今岡崎町ノ當部自働車製作所ニ移轉致シ一層業務ヲ擴充仕り各所ノ御愛顧ニ報ヒ可申候間何卒信舊御引立ノ程奉願上候

大正九年七月二十七日

京城府岡崎町

自働車製作所並鐵道鐵工部

鐵道自働車部

昨日日本紙面ニ福株式店中津留一次ニ對  
 シ京城有價證券現物問屋組合ハ取引停  
 止ノ旨廣告セリ然ルニ御得意様中ニハ  
 本店主ト同姓ナルガ故ニ御間違ノ御方  
 様モ之有折角御尋子ニ預リ御厚情難有  
 幸深謝候有ハ弊店ト同姓ノミニテ全ク  
 無シ

謹啓

度候先ハ御禮旁々此段謹告仕候敬具  
大正九年七月二十七日  
東京市有明證券物同組組合員

株式店  
中津留孫市  
店主  
来る三千日は土用丑  
うなぎ卸し

建築金具  
人工道具  
各種鋸引手

京坂本町三丁目

近藤安吉商店

電話一五六二

腸胃  
一重丸

コレラ流行！  
の時  
は  
ス  
グ

下痢  
腹痛

豫

天

金  
山  
用品  
物  
陰  
マニ  
ラ  
ロ  
ー  
フ  
料

豫計に依りある木納金を用ひ連に振替し以て貯蓄の健全を計られよ

本館 大坂交響 種民教育會社 對る處の認 店にあり

◎長州風呂釜

應ニ作製覆雨  
入荷  
柿澁 蓑笠  
京城府南大門通五十丁  
翁村谷京城出張所  
電話五二一

長樂口に甚し

京城本町二丁目  
金物商 佐野彦藏 商店  
電話一六三三  
東京市銀座三丁目

甘藷葡萄酒  
一杯より  
少く苦きども  
津村  
人蔘王夫の  
一杯を召せ  
朝商  
弟  
兄  
村  
八七

內科  
三原  
三城  
三金  
三赤  
三門  
三通  
本  
田  
病  
津  
和



寒潮 (八)

「可けませんでしなかね、美智子さんにお借りしちゃあ……」  
「あの人がから掛りたくはなかなのです」  
「驚うでしたか、それは何うも嫌んだこそで……さや何うしたものでせうかね」  
「何う云つて仕度ないうちへ来りませんか、假へ何うあらまゝ来りたにも違ひないから禮ません、早川さんが取る云々」  
「美智子の氣質が石であつても、それを轉がすのが自己の務めであらう、將に助一に對する報恩の手段あると思ふよ、その儘捨て置くのが悪い罪科であらうにも思はれて苦しかつた」  
「なに、可うこそ、助一は切つ難む處あらうに、ひとひつゝ」  
「あなにも御心配を掛ては當りません、早川さんが取る云々」



を云つて渡す外無いでせう」  
「宜しい、わたしが返します、  
安藤さまは知りな顔をしておな  
でなさい、なに、傳つたのはあり  
ましたです、貴任はつたにあり  
ます、禮を云つて渡すに何の仔  
細があるのですか」又作は  
少し無げうつたが「それより  
は、佛児の事が困ります、あの儘  
捨て、お置になるさ、明日に  
は公國にすまよ」

は取つて置きます、公國にす  
まよへばして貰ひます、でも  
ここは分つて居るんですもの  
親父は死んだ、妹は生きて  
ます、正面を奪が取れて無佛児  
勝つやうなつた、天下の法  
も顧みれません、最後はこれ  
さ右の拳をツツし出し  
「わたしに斯うした利根が

「まあ、何と云ふ恐ろしい魔兒  
さんでせう」  
菊枝は六でても入りたいたやう  
に云つたが、「おたし姉さんにお  
話をせし見まうか、姉さんの  
被褥にのたふし、少し位お背き  
なさんかおたしせんわ」  
「お前が話した何うかしらない  
が、先刻の機子とは眼目ししか  
つた。何しろ、お前さんが聲を  
はせてお前さんにやうな、外  
方ばかり向いて居るやうな人  
からな」  
「恐し、そんな事をおさせし  
はせまへせんかたね」  
「お前のやうに云つたが、  
わたしにお任せ下さい、  
にもおねがひがあります。貴兄  
様を驚かせるのが、弊  
社事務ではないですが、

「わたくしはわたしの方ねを言ひました」  
「皆さんに胸心配を掛けてすみません、此も皆わたしの注意が足りないからです。すなわしがもう少し親父に気をつけて居ますれば、こんな事になるのではなかつたので、さういふ事は身を買めるやうによつて、『三川さん』の事は兎も角、最初の事だけは宜しく願ひます。ちやわたしはそこには歸らざりました」

**刺繡講習**

教室内には同業、必要とする諸君、考案品陳列がある。就る御覧に會員品の御方々、離れ度御覧に有る之度  
入御入札、御方々、登録目録  
京城刺繡講習所  
五通一五番  
八行街

セキは怪物・痰け  
ロクマのバロー  
**無料進呈**  
△七小田  
容目見  
くまなく又肺病に罹つた清原君には何うも身の工事が禁でだんぐり、咳嗽、咯血、呼吸困難、貧血等の不思議の徴候が交現はれます。其の中でゴッペイと云ふ月のない空陰は最も怪しい又タケは病の伏子であるからせられして油断がなりませんが、主はろくまが

[illegible][illegible]

は火事熱は  
ハイ、ビヤウ

心諸獨診斷  
メーター

肺病

勿く全快した實験  
今日、の様な強健な身體に  
に全治されて居ります。其後世  
に、の様な強健な身體に  
に全治されて居ります。其後世  
に、の様な強健な身體に  
に全治されて居ります。其後世

肺病の患者に於ては、一統へられ  
て、肺病の患者に於ては、一統へられ  
て、肺病の患者に於ては、一統へられ  
て、肺病の患者に於ては、一統へられ

コレラの大奇効は全  
治せしむるに上り  
に數名に上り  
に數名に上り

[illegible]

失禮にならぬ  
此夏は  
このなつ  
名實共二日本一  
ふく  
すけ  
な  
福助百

[illegible]

# 新緩下劑

常習性便秘特效藥

ラキサトル

本劑は白色無味殆んど無臭の結晶性粉末にして便秘就中習慣性便秘症に用ひて緩下作用を呈し殆んど副作用を認めず且其特長とする點は用量頗る僅少(錠劑貳個粉末〇・四)頓服にて足り無味殆んど無臭なるを以て婦人小兒も嫌忌せず且習慣性を來さざる等の諸點なり。

【客】 錠劑 拾錠入 金四拾錢  
 拾錠入 金壹圓五拾錢  
 粉末 拾瓦入 廿五瓦入

伊藤、金谷兩醫學士實驗報告書送呈す

發賣元

大阪道修町

株式塩野義商店

電話本局 四九〇・四〇九一・四〇九二番、總發行所京都府西區八幡

は 顔は銭箱三

原料香水

オリヂナル

僅か一滴で

床しい花の薫りが永く保つ

御代表の香水オリヂナルの  
御使用をお忘れな

日本カール本館  
東京 浅草 安福井重源

足袋

奴様

A black and white illustration. In the center, a man wearing a hat and a long, dark coat stands with his back to the viewer, looking towards a large, solid black circle. He is holding a long, thin object, possibly a cane or a stick. To the right, a woman's face is partially visible, looking towards the man. She is holding a fan. The background is white with some faint, scattered marks. In the bottom left corner, there is a small, rectangular object with some text on it, possibly a label or a small sign.